

## R5日本史研究シラバス

教科名	科目名	対象学年	単位数	教科書
地歴	日本史研究	3年	2	ステップアップ 日本史 啓隆社 「新選日本史B」東京書籍 「図説 日本史通覧」帝国書院

### 1. 学習目標

我が国の歴史の展開を、世界史的視野に立って総合的に考察させ、我が国の文化と伝統の特色についての認識を深めさせることによって歴史的思考力を培い、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。

### 2. 学習計画

月	学習内容	指導のねらい
4	1. 文化の始まりと農耕社会の成立 2. 飛鳥の朝廷と律令国家の形成と律令のしくみ 3. 平城京の時代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富の蓄積により縄文時代から弥生時代へ遷移したことや小国の形成・大和王権に至る過程を東アジアとの関係に繋げて着目させる。</li> <li>・推古朝から律令体制の成立の過程について理解させる。</li> <li>・奈良時代の政治の動向や、遣唐使によって国際的な文化が開花したことを理解させる。</li> </ul>
5	課題研究① 4. 貴族政治の展開 5. 荘園の発達と武士の台頭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒各自の興味のある歴史的事象について調べるとともに、テーマを設定してまとめ発表する。</li> <li>・律令制の変質と摂関政治の展開について日本の風土や生活に適応した新しい貴族文化が進化したことと関連付けながら考察させる。</li> <li>・公領の変質や荘園の拡大、武士の台頭などに着目し学習させる。</li> </ul>
6	6. 院政と平氏政権 7. 古代から院政期の文化 8. 鎌倉幕府の成立と執権政治 9. 蒙古襲来(元寇)と幕府の滅亡 10. 室町幕府の成立 11. 幕府の衰退と庶民の台頭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・武士が朝廷・院に取り立てられ活用される流れと、平氏政権の権力獲得や維持のしくみについて気付かせる</li> <li>・仏教と大陸文化に影響をうけながら、平安時代には日本風にアレンジした文化が生まれたことに気付かせる。</li> <li>・武家社会の成立や将軍専制から執権を中心とする御家人の合議制に幕府が移行していった過程について理解する。</li> <li>・元寇と、その後の幕府の衰退との関連性について気付かせる。</li> <li>・南北朝の動乱から室町幕府の成立までの流れを捉える。</li> <li>・応仁の乱から戦国時代までの流れを把握しながら、庶民文化のめばえについて理解する。</li> </ul>
7	12. 戦国大名の登場と織豊政権 13. 中世の外交と経済 14. 中世の文化 15. 幕藩体制の成立 16. 幕政の展開 17. 幕政の改革	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戦国時代の到来を下剋上の風潮だけでなく大航海時代など世界史的背景にも着目して理解させる。</li> <li>・東アジアの国際関係と日本との関係、貨幣経済の進展による経済の活性化について考察させる。</li> <li>・武家文化と公家文化が融合したことや庶民の文化のめばえについて理解させる</li> <li>・幕府と藩、農民支配の特色や封建的身分制度などについて理解させるとともに、鎖国政策の成立の過程をこく国際関係と関連付けて考察させる。</li> <li>・武断政治から文治政治への転換や、それによって安定した幕藩体制下での社会を考察させる。</li> <li>・江戸時代中期以降の相次ぐ飢饉や経済の停滞などを打破するために改革が必要だったことを理解させるとともに、諸改革の特徴を捉えさせる。</li> </ul>
8 9	18. 幕府の衰退・滅亡 19. 江戸時代の経済・社会 20. 近世の文化 21. 明治維新 22. 立憲国家の成立 23. 日清・日露戦争と国際関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開国によって国際社会に組み込まれる中で、尊王攘夷運動や倒幕運動を経て明治維新に至る過程について考察させる。</li> <li>・商品経済の発展、農民層の分解など、社会構造の変化について理解する。</li> <li>・洋学・国学などの新たな学問・思想の発展や江戸を中心とした町人文化の形成などを、時代的背景に留意させながら考察させる。</li> <li>・諸制度の改革や富国強兵・殖産興業政策について、欧米列強との関わりに着目して政治、外交、経済など様々な面から考察させる</li> <li>・内閣制度や憲法の制定など、近代国家として必要とされている諸制度の整備の必要性について考察させる。</li> <li>・日清・日露戦争を清国の朝鮮政策やロシアの極東政策、日本の大陸政策など、世界史的視野から考察させる。</li> </ul>

	24. 明治の経済	・明治初期の殖産興業によって創設された産業がどのような過程を経て成長していったかを捉えさせる。また、経済発展にもなつて発生した社会問題にもふれて理解させる。
10	課題研究② 25. 第一次世界大戦と日本 26. 恐慌の時代と軍部の台頭	・生徒をいくつかのグループに分け、提示された歴史的事象について考察し、ディベート形式で歴史的事象について検証させる。 ・第一次世界大戦とその前後の国際社会の動向に留意して、我が国の対外政策や大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響について考察させる。 ・国際経済、全体主義の台頭、中国の民族運動など世界情勢と、軍部の政治的進出や恐慌など国内政治と経済の動揺に着目し理解する。
11	27. 日中戦争と第二次世界大戦 28. 近代の文化 29. 占領期の世界と日本 30. 55年体制と高度経済成長、現代の世界と日本 31. 資料問題 32. 統計資料問題	・戦争の拡大を世界史的視野で考察するとともに、戦時下の国民生活にもふれて理解させる。 ・労働者の増加や高等教育の拡大による大衆社会の成立に着目し、形成された大衆文化の特色について考察させる。 ・対日占領政策及び戦後の民主化を進める諸改革の内容を考察させるとともに、冷戦による国際関係に着目させながら日本の主権回復の流れを把握させる。 ・高度成長と国民生活の変化、経済発展に伴って表面化した社会問題を現代の諸課題と関連付けて考察させる ・資料の読み方や問題の解き方等を演習をとおして身に付けさせる。 ・統計資料の読み方や、資料から時代背景を考察させる問題を解かせる。
12	模試問題	・過去問を解きながら入試に向けて知識や理解を深める。
1	入試対策	・大学入学共通テストに向けて演習を中心に行う。
2	まとめ	・4月から学んだことを総括し、これからの日本の課題について考察し解決の方法を議論する。

### 3. 評価の観点及び趣旨

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解しているとともに、諸資料を吟味して確実なものを選択し活用することを通して歴史的事象を追及する方法を身に付けている。	歴史的事象を世界的視野に立って多角的、多面的に考察するとともに、国際社会の変化に的確に対応し、公正に判断するとともに、それらの過程や結果を的確に表現する。	歴史的事象について関心と課題意識をもち、意欲的に追及することを通して国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとする。
評価方法	課題発表 演習問題 定期考査	課題発表 演習問題 定期考査	課題発表 授業への参加状況(取り組み態度・ペア学習・グループ学習等で仲間と協働して取り組めたか)